



平成 27 年 5 月 28 日

消費者動向調査 No.116 「夏のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、消費者動向調査を定期的実施しております。今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「夏のボーナス使いみち調査」を実施いたしました。調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

調査時期：平成 27 年 4 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
（うち回答者 488 人、回答率 97.6%）

調査結果要約

- ◆ **今年の夏のボーナス、前年夏と比較して「多くなる」は 0.1 ポイント増加し、28.5%で過去最高。**

前年夏よりも、ボーナスが「多くなる」は 0.1 ポイント増加し 28.5%で過去最高となった。「少なくなる」は 1.8 ポイント増加し 14.5%。

(調査結果本文 2P)

- ◆ **夏のボーナスの使いみち予定、1 位は「旅行・レジャー」で 49.0%。2 位は「貯蓄」で 48.6%。「貯蓄」以外が 1 位になるのは初めて。**

夏のボーナス使いみち予定 1 位の「旅行・レジャー」は 49.0%で、前年夏の 48.3%より 0.7 ポイント増加した。2 位の「貯蓄」は 13.0 ポイント減少して 48.6%。

(調査結果本文 3P)

- ◆ **ボーナスを貯蓄・運用する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」で 39.5%。2 位は「将来の教育費のため」で 38.5%。**

貯蓄の目的は、引き続き将来に対する備えが上位を占めている。

(調査結果本文 4P)

- ◆ **夏のボーナスを貯蓄・運用する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が 56.8%で 1 位。**

景気は穏やかな回復基調にあるものの、安全性を重視する割合が引き続き高水準。

(調査結果本文 5P)

- ◆ **関心がある金融商品、1 位は「預貯金」で 74.4%。2 位は「保険・共済」で 36.9%は過去最高。**

1 位の「預貯金」への関心は 74.4%、2 位の「保険・共済」は 36.9%と過去最高となった。

(調査結果本文 6P)

- ◆ **夏のボーナス、自由に使える金額は、前年夏に比べて夫は 8 千円アップ。妻は 9 千円アップ。**

ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したのを反映し、「自由に使える金額」は前年夏から増加した。

(調査結果本文 7P)

調査結果本文は[こちら](#)

この調査に関するお問い合わせ先は			
西日本シティ銀行	広報文化部	長谷川	TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング	調査部	原	TEL 092-476-3051

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。